



美郷町

保存版

防災マップ



早めの避難があなたの命を救います

洪水時に堤防が決壊した場合には、はん濫水の勢いで堤防近くの家屋は破壊されたり流失したりする可能性があります。そのようなときに避難せず家屋にとどまっていた場合には、人命に関わる事態の発生も予想されます。洪水時には上流域も含めた雨量や河川水位情報などを早くから収集し、町からの避難情報などにも注意しながら、堤防が決壊する前には必ず避難が完了するよう早めの行動を心がけてください。

避難行動に関する行政発令の種類と、住民のみなさんの対応

避難勧告などは、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難勧告」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「自主避難」をお願いします。

区 分	立ち退き避難など住民のみなさんの行動
避難準備・高齢者等避難開始	・避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等）とその支援者は避難を開始する。 ・その他の人は、避難の準備をする。
避難勧告	・速やかに避難所へ避難する。 ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難する。
避難指示(緊急)	・避難を完了していない人は、緊急に避難所へ避難する。 ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難する。

※「自主避難」とは・・・避難勧告などを待たず、自主的に地区集会所、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、出来るだけ必要な食糧、飲物、日用品などを持参するようにしてください。

※雨が降り続いていたら、テレビ・ラジオ・スマートフォン・パソコンなどで最新の気象情報を入手しましょう。特に、河川氾濫の浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、自分で早めに判断し、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる行動（自主避難）することが命を守ることになります。



避難の際には、ご近所にも声をかけあい、地域で協力し合う避難を心がけましょう。



お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。



インターネット・気象庁ホームページ



テレビ・ラジオ

本書の使い方

本書は、いずれ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。

本書の特徴

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。通常は、地図部分や「わが家の防災・緊急情報メモ」ページを開いた状態で、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

索引

早めの避難・避難行動の種類・本書の使い方・索引	1	火災対策	8
特別警報をご存知ですか？	2	地震対策	9
屋外の防災対策・自分たちの地域は自分たちで守ろう	3	わが家の防災対策&チェック	10
屋内の防災対策・自主防災活動	4	指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所一覧	11
風害対策・竜巻対策	5	わが家の「防災・緊急情報」メモ	12
土砂ハザード情報について	6	全体図	13,14
洪水ハザード情報について	7	詳細MAP1～10	15～
		非常時持出品の準備&チェック	裏表紙

制作・発行：美郷町（お問い合わせ：住民生活課 電話番号 0187-84-4903）
制作・著作：株式会社ゼンリン 秋田営業所
作成：平成30年3月

「この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を使用し作成したものである 承認番号 平成28年5月18日 指令森-379」
「この地図は美郷町長の承認を得て、同町発行の1/2500六郷町を使用し調製したものです。 承認番号 平成29年2月16日 美建収第945号」

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

災害から身を守るために(大雨の場合)

普段から…

大雨になるおそれ
雨が降り出す

気象情報・空の変化に注意



- ・ 周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・ 避難場所や避難ルートを確認しておく

雨が強くなると…

注意報

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動！



- ・ 気象情報や外の様子に注意
- ・ 非常用品や避難場所、避難ルートを確認
- ・ 災害に備えて、家の外の備えを点検

大雨が降り続くと…

警報

自治体が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難



さらに激しい
大雨が続くと…

非常事態

特別警報

ただちに命を守る行動をとる

市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難！
外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動



「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。



浸水の中の避難は
非常に危険！

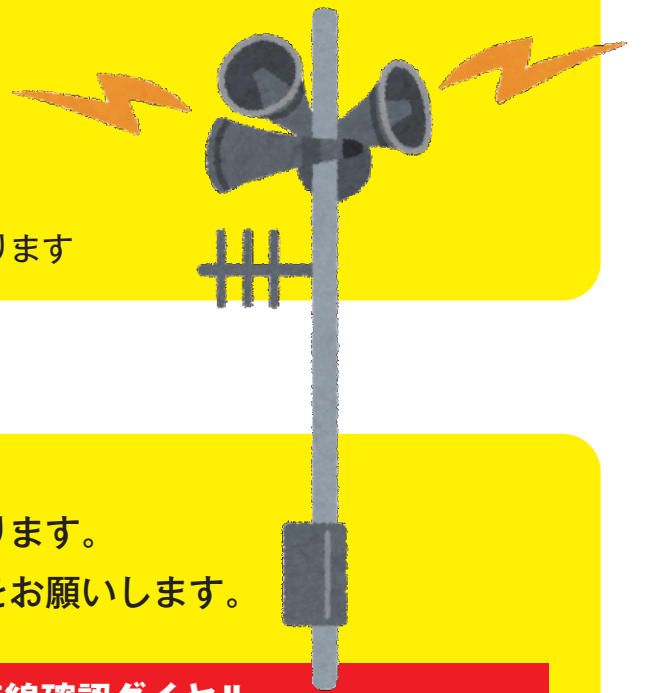
- ・ 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・ これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・ 普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

屋外の防災対策：防災行政無線について

放送内容について

防災行政無線からは、Jアラート（全国瞬時警報システム）による情報や町からのお知らせが流れます。

- | | | |
|---------------------------------|-------|-----------------------------------|
| ○地震情報・気象情報
（緊急地震速報や竜巻注意情報など） | } | コンピューターによる
自動放送（男性の声） |
| ○国民保護情報（ミサイル情報など） | | |
| ○町情報（避難情報・熊出没情報など） | ----- | 職員による放送（女性の声）
※緊急時には男性の場合もあります |



防災行政無線が なったら！

住宅の気密性の関係等により、屋内にいる場合は放送が聞こえにくいことがあります。
防災行政無線が鳴っていることに気付いたときは、窓や戸を開けるなどの対応をお願いします。

1. 窓を開けるなどをして、放送を確認しましょう！
2. テレビやラジオをつけましょう！
3. 聞きのがしてしまったら…

防災行政無線確認ダイヤル
☎(0187) 85-3981 または 3982 まで
(放送内容が確認できます)

※町のホームページにも放送内容を掲載します。（気象情報等や国民保護情報はホームページ更新が遅れる場合があります。）

自分たちの地域は自分たちで守ろう！

大規模災害が発生した時には、自分や家族を災害から守る「**自助**」、地域全体で地域を守る「**共助**」、町や消防、警察などによる支援や救助などの「**公助**」の3つが連携し機能することで、被害を最小限に抑えることができます。



屋内の防災対策：緊急告知FMラジオについて

緊急告知FMラジオについて

緊急告知FMラジオは、ラジオの電源が切れている状態でも自動で起動し、緊急情報などをお知らせします。
※エフエム秋田の通常放送を利用しています。

- 地震情報・気象情報（緊急地震速報など）
※竜巻注意情報は放送されません。

○国民保護情報（ミサイル情報など）

○町情報（避難情報など）
- コンピュータによる
自動放送（男性の声）
- アナウンサーによる放送



緊急告知FMラジオが なったら！

屋内でも、ラジオ放送が聞こえにくいことがあります。
緊急告知FMラジオが鳴っていることに気付いたときは、聞きやすいように音量を上げる、アンテナを調整するなどの対応をお願いします。

- 「マイシティ・マイタウン美郷町」
について
- エフエム秋田の番組として、町の様々な情報をお伝えしています。
ぜひ、毎週お聴きください。

放送の曜日と時間：毎週火曜日 午後4時20分より（約10分）		
放送週	自動起動	
毎月第1火曜日	○	※起動テストを兼ねています。正常に起動しなかった場合は町住民生活課までご連絡をお願いします。
〳 第2火曜日～	×	※手動で電源をいれて、お聞きください。

自主防災活動を行っていきましょう！

災害発生直後に重要となるのは、「自助」と「共助」による救助活動や初期消火活動、避難活動や安否確認です。これらの活動を迅速に行うためには、平常時から「自助」と「共助」の必要性と重要性を認識し、「**自分たちの地域は自分たちで守る！**」という意識を日頃から持つことが大切になってきます。
その意識の向上のために必要不可欠となってくるのは、「**地域の自主防災活動**」です。

平常時の活動例	防災知識の普及、地域の災害危険の把握、防災訓練の実施、火気使用設備などの点検、防災用資機材の整備。
---------	---



災害時の活動例	情報の収集・伝達、出火防止・初期消火活動、地域住民の避難誘導、負傷者の救出・救護活動、給食・給水などの活動。
---------	--



風害対策

強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと 転倒する。風で飛ばされた物で窓 ガラスが割れる。	立ってられない。 屋外での行動は危険。 樹木が根こそぎ倒れはじめる。

風害への備え

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて強くする。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定するか、家の中へ格納する。
- 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼る。また、万が一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

竜巻対策(竜巻から身を守る)

竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです
- ろうと状や柱状の雲を伴っています
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します
- 短時間で、狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします
被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります
過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

建物等の被害は防げませんが、身の安全を守るための対策は可能です!

『竜巻注意情報』が発表されたら…

特に

- ・人が大勢集まる屋外行事
- ・テントの使用や、子供、高齢者を含む屋外活動
- ・高所、クレーン、足場等での作業

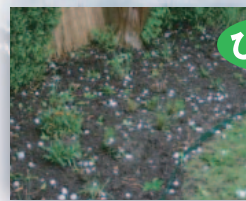
のように、安全確保にある程度の時間を要する場合には、
早めの避難開始を心がけてください。

**発達した積乱雲の
近づく兆しがある場合には、
頑丈な建物内に移動するなど、
安全確保に努めてください。**

「発達した積乱雲の近づく兆し」とは…

以下のような状況になると、竜巻の発生するような発達した積乱雲が、あなたの間近まで近づいている可能性があります。

- ◆真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。



ひょう



(注)発達した積乱雲が近づいた場合の代表的な現象を記したものです。しかし、これらの現象が必ず発生するとは限りませんし、はっきりしない場合もあります。異変を感じたら、早めの避難を心がけてください。

**『竜巻注意情報』の発表から約1時間は注意してください。
危険な気象状態が続く場合は、改めて情報を発表します。**



気象庁

Japan Meteorological Agency

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話: 03-3212-8341 FAX: 03-6689-2917(耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp> (気象庁リーフレットより抜粋引用)

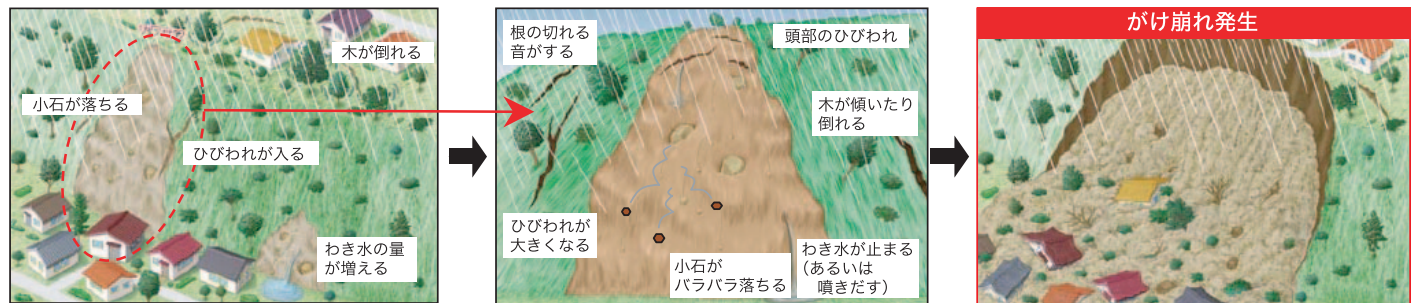
土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、町役場住民生活課 電話0187-84-4903へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



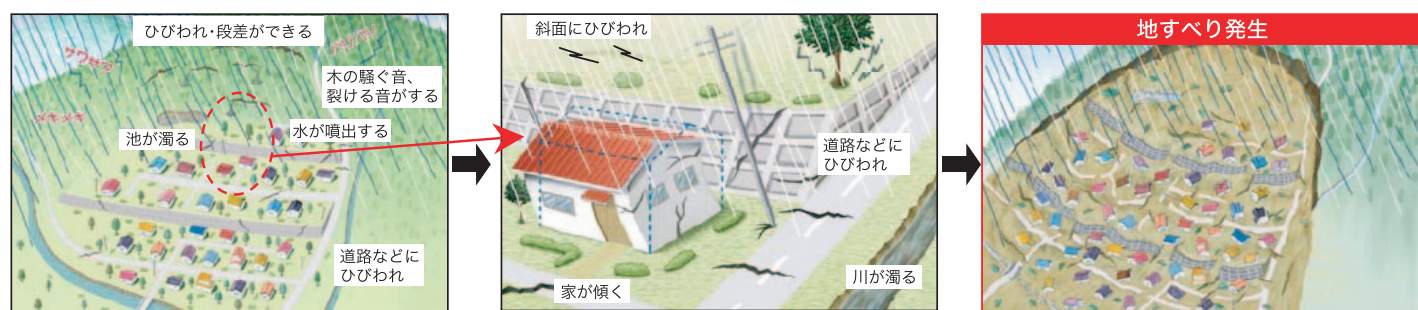
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報について

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、町が防災活動や住民等への避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と秋田地方気象台が共同し作成・発表する情報である。

●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、町は、気象状況、前兆現象、秋田県土砂災害危険箇所マップ(県の補足情報)や土砂災害警戒判定メッシュ情報(補足情報)の危険度指数等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急告知FMラジオ等を活用し、速やかに伝達します。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

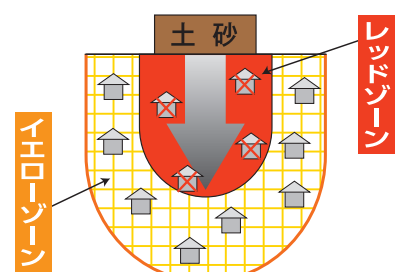
土砂災害防止法に基づき、秋田県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

住民に危害が生じるおそれがある区域



洪水ハザード情報について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)				
10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

大雨注意報・警報の発表基準

大雨注意報

大雨により土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合。

大雨警報

大雨により重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想される場合。

大雨特別警報

数十年に一度の大雨となるおそれが大きい場合。

・降水量が警報基準を大きく超えるような大雨

上記以外に「記録的短時間大雨情報」があります。(1時間雨量が100mm以上)
「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。

洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

●洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報(気象庁)

●洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。



避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
 - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない！

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。
水の流れが速い場合はさらに注意が必要！
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。



火災対策 火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1

早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2

早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。



火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すの方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3

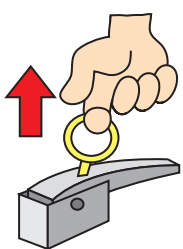
早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけ上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災予防が一番!!

火災警報機の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報機の設置が義務付けられました。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災警報機の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置も必要です。

注意: 住宅用火災警報機は電池式のもの主流です。電池の寿命は5年から10年とされていますので、早めの交換をお願いします。警報機の音を事前に確認することも重要です。



警報機



住宅内取付位置図

地震対策 地震発生!そのときどうする

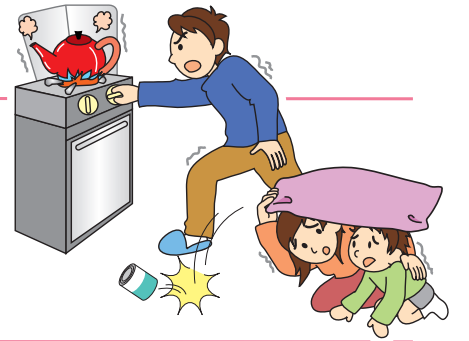
地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に
声をかけよう

- 要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか

出火防止
初期消火

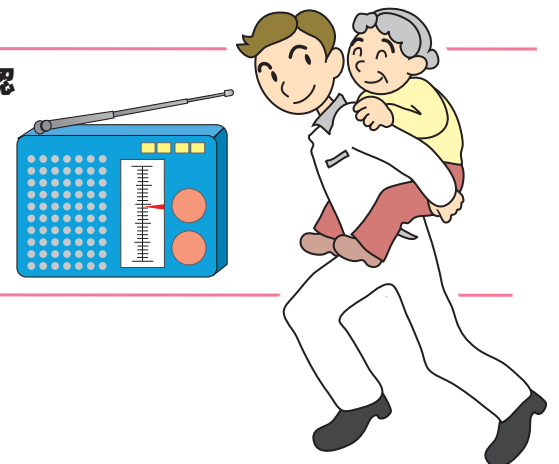
- 初期消火
- 消火器を使う
- バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
- 余震に注意

3分

5分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 救出・救護を
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



10分
数時間
3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集
- 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

地震の時には…

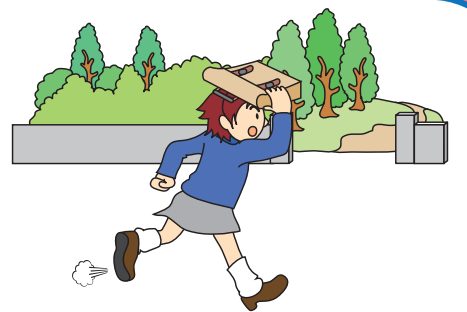
家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。



路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



非常時持出品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



実際の震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

わが家の防災対策&チェック

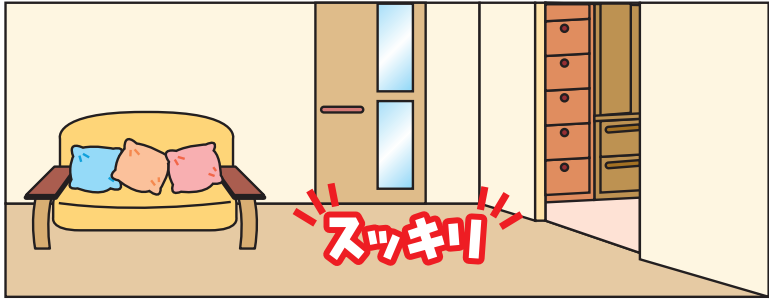
家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

1

□ 逃げ場としての空間をつくる

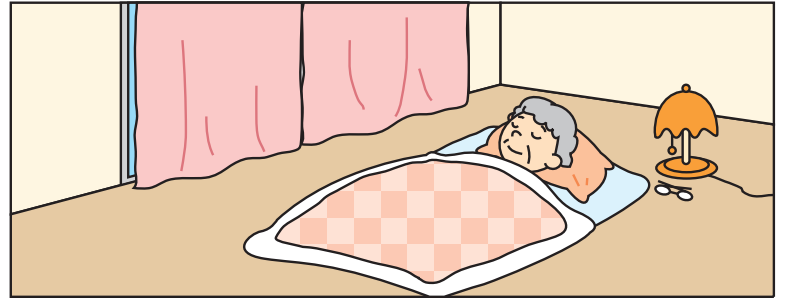
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



2

□ 家具の置き場所を点検する

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる危険性がある。



3

□ 家具の転倒防止

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



4

□ 出入口や通路を確保する

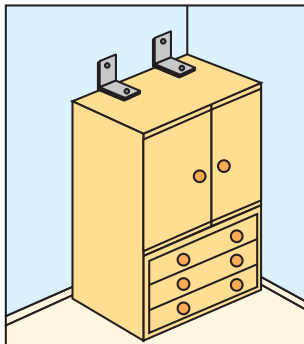
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

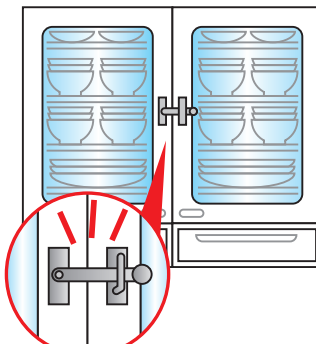
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



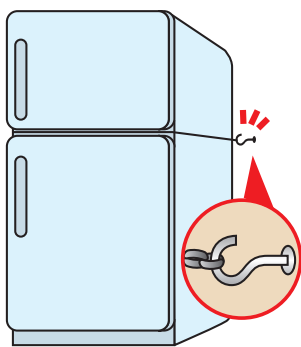
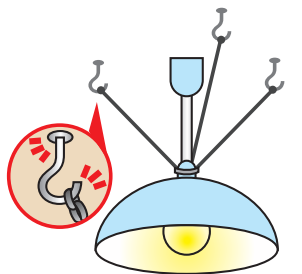
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



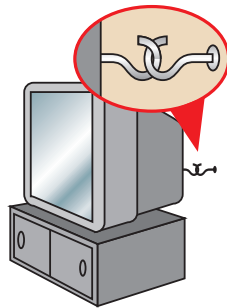
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



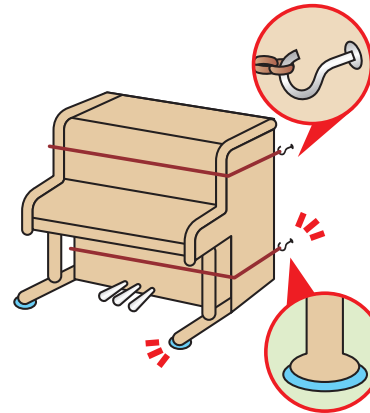
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

□ 屋根

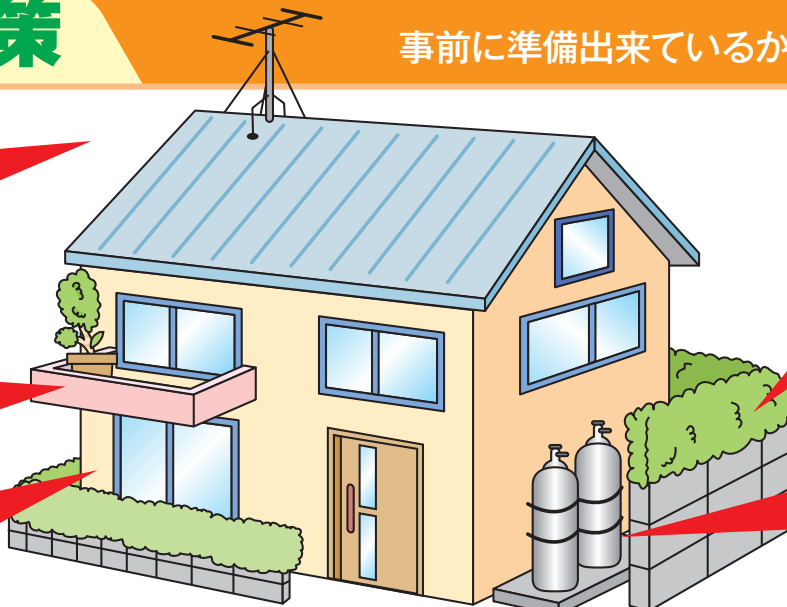
不安定な屋根のアンテナや、屋根がわらはは補強しておく。

□ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

□ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



□ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所一覧

指定避難所とは

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設として市町村長が指定します（法第49条の7）。

指定緊急避難場所とは

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、災害の種類ごとに安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所を市町村長が指定します（法第49条の4）。

福祉避難所とは

一般の避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦など、何らかの特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。

指定緊急避難場所

千畑地区

No	名称	所在地	掲載頁
1	美郷町北運動公園北ふれあい広場 ※1	美郷町土崎字上野乙205-7	MAP4
2	千畑小学校グラウンド	美郷町土崎字上野乙1-4	MAP1
3	みさと福祉センター駐車場	美郷町土崎字上野乙6-1	MAP1
4	一丈木公園	美郷町浪花字一丈木1-3	MAP2
5	役場駐車場	美郷町土崎字上野乙170-10	MAP4
6	黒沢農村公園	美郷町黒沢字西野144-1	MAP2
7	美郷町北運動公園野球場	美郷町土崎字上野乙1-197	MAP1
8	土崎農村公園	美郷町土崎字土崎林8-17	MAP1
9	本堂城回農村公園	美郷町本堂城回字若林2-4	MAP1
10	元本堂農村公園	美郷町浪花字大道178-5	MAP2
11	平場の森公園 ※2	美郷町畑屋字高野5-2	MAP4
12	安城寺農村公園	美郷町安城寺字柳原22	MAP4
13	大畑農村公園	美郷町金沢東根字蛭川409-1	MAP4

※1 旧千畑中学校グラウンド
※2 旧千畑南小学校グラウンド

六郷地区

No	名称	所在地	掲載頁
14	六郷小学校グラウンド	美郷町六郷字赤城1	MAP7
15	六郷高等学校グラウンド	美郷町六郷字馬場52	MAP7

六郷地区

No	名称	所在地	掲載頁
16	美郷中学校グラウンド	美郷町六郷字押切10	MAP7
17	下鍵田農村公園	美郷町鍵田字上二ツ石245-7	MAP7
18	美郷町中央公園	美郷町六郷字安楽寺288	MAP7
19	わくわく広場	美郷町六郷字古屋敷54-1	MAP6
20	本館農村公園	美郷町六郷字八幡44-1	MAP3
21	六郷東根運動広場	美郷町六郷東根字東明田地271	MAP7
22	美郷町野球場	美郷町六郷東根字北明田地150	MAP7
23	みさところども館駐車場	美郷町六郷字白山55-1	MAP7
24	にぎわい広場	美郷町六郷字米町62	MAP7

仙南地区

No	名称	所在地	掲載頁
25	雁の里山本公園	美郷町飯詰字東西法寺159	MAP9
26	南運動公園	美郷町飯詰字糠淵18-1	MAP8
27	美郷町宿泊交流館グラウンド	美郷町飯詰字下鶴田22-1	MAP8
28	仙南小学校グラウンド	美郷町飯詰字轄町26-1	MAP8
29	旧金沢小学校グラウンド	美郷町金沢字長岡森215	MAP9
30	道の駅雁の里せんなん駐車場	美郷町金沢字下館124	MAP9
31	駅前多目的広場	美郷町上深井字谷地中77-5	MAP6

一次指定避難所

No	名称	所在地	掲載頁
32	北ふれあい館（旧千畑中学校）	美郷町土崎字上野乙205-1	MAP1
33	中央ふれあい館	美郷町野中字下村37-1	MAP7
34	南ふれあい館	美郷町飯詰字北中島37-1	MAP8



二次指定避難所

千畑地区

No	名称	所在地	掲載頁
35	千畑小学校	美郷町土崎字上野乙1-4	MAP1
36	みさと福祉センター	美郷町土崎字上野乙6-1	MAP1
37	千畑なかよし園	美郷町土崎字上野乙31	MAP4
38	特別養護老人ホーム真昼荘	美郷町本堂城回字若林119	MAP1
39	土崎コミュニティセンター	美郷町土崎字中谷地1-1	MAP4
40	上畑屋コミュニティセンター	美郷町畑屋字前田16-1	MAP4
41	美郷町住民活動センター	美郷町畑屋字街道東144	MAP4
42	千畑温泉サン・アール	美郷町金沢東根字仏沢210-1	MAP5
43	サン・スポーツランド千畑	美郷町金沢東根字仏沢210-1	MAP5
44	屋内スポーツ館	美郷町畑屋字高野5-1	MAP4

六郷地区

No	名称	所在地	掲載頁
45	美郷町学友館	美郷町六郷字安楽寺122	MAP7
46	美郷中学校	美郷町六郷字作山13-3	MAP7
47	六郷小学校	美郷町六郷字赤城1	MAP7
48	大島会館	美郷町六郷字小安門58	MAP6
49	六郷高等学校	美郷町六郷字馬場52	MAP7
50	鍵田コミュニティセンター	美郷町鍵田字馬町145-3	MAP7
51	本館コミュニティセンター	美郷町六郷字八幡44-1	MAP3
52	名水市場・湧太郎	美郷町六郷字馬町83	MAP7
53	手づくり工房湧子ちゃん	美郷町六郷字大町71-7	MAP6

六郷地区

No	名称	所在地	掲載頁
54	サテライト六郷	美郷町六郷字古館南6	MAP6
55	旧六郷東根小学校	美郷町六郷東根字上中村27	MAP7
56	六郷東根コミュニティセンター	美郷町六郷東根字上中村37-1	MAP7
57	六郷温泉あったか山	美郷町六郷東根字下馬転120	MAP10
58	六郷わくわく園	美郷町六郷字作山13-7	MAP7

仙南地区

No	名称	所在地	掲載頁
59	金沢西根コミュニティセンター	美郷町金沢西根字西今泉141	MAP8
60	金沢コミュニティセンター	美郷町金沢字味噌森10-11	MAP9
61	飯詰コミュニティセンター	美郷町上深井字松葉野246	MAP6
62	後三年コミュニティセンター	美郷町飯詰字東山本107-1	MAP9
63	旧仙南西小学校	美郷町金沢西根字北今泉80	MAP8
64	旧金沢小学校	美郷町金沢字長岡森215	MAP9
65	仙南小学校	美郷町飯詰字轄町26-1	MAP8
66	仙南すこやか園	美郷町飯詰字糠淵4-1	MAP8
67	美郷町公民館	美郷町飯詰字北中島37-1	MAP8
68	美郷総合体育館リリオス	美郷町飯詰字糠淵18-1	MAP8
69	美郷町宿泊交流館ワクアス	美郷町飯詰字下鶴田22-1	MAP8
70	湯とびあ雁の里温泉	美郷町飯詰字東西法寺181-2	MAP9
71	道の駅雁の里せんなん	美郷町金沢字下館124	MAP9

福祉避難所

高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など、避難生活において特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。一般の方は、指定避難所への避難をお願いします。

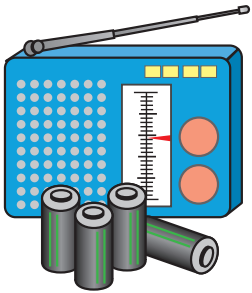
No	名称	所在地	掲載頁
72	美郷町宿泊交流館ワクアス	美郷町飯詰字下鶴田22-1	MAP8

非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

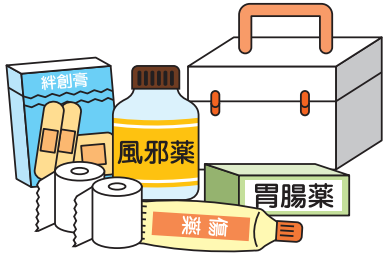
非常時持出品(例)

携帯ラジオ



- ・ ラジオ
- ・ 電池 (多めに用意)

救急医療品



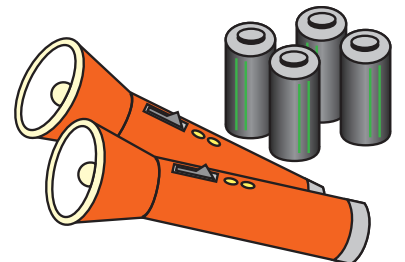
- ・ 持病薬
- ・ 絆創膏
- ・ 傷薬
- ・ 包帯
- ・ 風邪薬
- ・ 胃腸薬
- ・ 鎮痛剤

貴重品



- ・ 現金
- ・ 預金通帳
- ・ 印鑑
- ・ 免許証
- ・ 健康保険証
- ・ 権利証書

懐中電灯



- ・ 懐中電灯 (出来れば一人にひとつ)
- ・ 電池 (多めに用意)

非常食品



火を通さなくて食べられるもの、食器など

- ・ カンパン
- ・ 缶詰
- ・ 非常用食品
- ・ ミネラルウォーター
- ・ 缶切り
- ・ 栓抜き
- ・ 紙皿
- ・ 紙コップ
- ・ 水筒

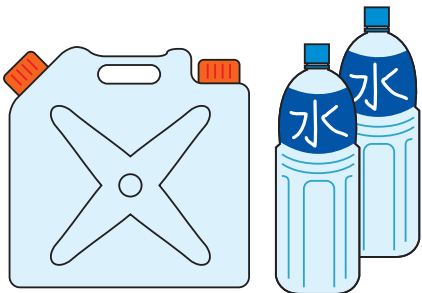
その他



- ・ 衣類 (下着・上着など)
- ・ タオル
- ・ 生理用品
- ・ 粉ミルク
- ・ 離乳食
- ・ 紙おむつ
- ・ ウェットティッシュ
- ・ 雨具
- ・ ヘルメット
- ・ ライター
- ・ ラップフィルム
- ・ 防災マップ (本書)
- ・ (止血や食器にかぶせて使う)
- ・ 防寒具 (時季による)

非常時用備蓄品(例)

飲料水



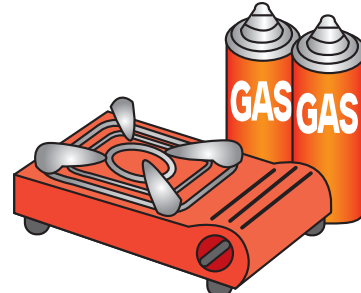
- ・ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター (1人1日3リットルを目安に)
- ・ 貯水したポリタンクなど

非常食品



- ・ お米 (アルファ米も便利)
- ・ 缶詰・レトルト食品
- ・ 梅干し・調味料など
- ・ ドライフーズ・チョコレート・アメ (菓子類など)

燃料



- ・ 卓上コンロ
- ・ ガスボンベ
- ・ 固形燃料

その他



- ・ 生活用水 (風呂・洗濯機などに貯水)
- ・ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ・ 調理器具 (なべ・やかんなど)
- ・ バケツ・各種アウトドア用品など

食料や飲料水を上手に備蓄しよう！

～ローリングストック方式～

実は、上記のような災害用の非常食品だけを大量に用意することだけが備蓄ではありません。普段から飲食している食料や飲料水を最初に多めに購入し、期限が切れる前に消費し不足分を新たに補充すれば、常に一定量の食料や飲料水を自宅内に備蓄することができます。このような備蓄を「ローリングストック方式」と言います。食料や飲料水を一定量に保ちながら消費と補充を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保つこともでき、災害時にも日常の食生活により近い生活を送ることができます。

ポイント

- ①最初に購入する食料や飲料水は「消費期限内に使い切ることができる量」を目安に！
- ②消費期限が短いものから使うことを意識しましょう！